

No.042 **Sep.** 月 議会

主な記事 Contents	•
代表質問2	~3p
一般質問4	~7p
常任委員会活動8	~9p
議決結果10~	11p
ハラスメント防止	
議員研修会	12p
お知らせ	12p



9月定例会の概要 (9月16日~10月14日)

開会日の9月16日に、平井知事から総額92億6千万円の令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)、総額46億9千7百万円余の令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第4号)など17議案が提案されました。また10月3日に、平井知事から総額14億6千万円余の令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第5号)など8議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党、会派民主が行い、一般質問には20名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

◎予算議案 《可決6件》 ◎条例議案 《可決3件》

◎人事議案 《同意7件》 ◎その他議案 《可決6件、継続審査3件》

【議員提出議案】

◎決議 《可決1件》 ◎意見書 《可決3件》

【陳情】 《趣旨採択2件、不採択3件》

表紙の写真

山陰道「北条道路」

山陰道「北条道路」の整備が、令和8年度の完成を目指して北栄町内で進められています。

これにあわせて、山陰 道を立体交差して接続 する国道313号北条倉 吉道路のJCT(ジャン クション)整備も進めら れており、完成すると安 全で円滑な通行が可能 となります。



鳥取県議会自由民主党

常田 賢一議員

鳥取市



ている。受入体制づくりに尽力し

故・安倍元総理を悼んで

害復旧と併せて観光復興もお願い け突破して頂ける方だった。 答問 生前の功績をどう評価するか。 鳥取県中部地震において、災 何でもやりますと耳を傾

〉シン・子育て王国の環境整備

政だより等で広報を強化したい。 象になることをもっと強調し、県 間 ファミリーワーケーションの っと広報・アプローチすべきでは。 間 不妊治療の県独自の助成をも 国の保険制度から外れても対

今後の展開は。 る力がある。将来の県の挑戦のヒ ントがあり、 自らの人生観・家族観を変え 取組を進めたい。

の造成を進めていきたい。

少しずつ付加価値の高い旅行商品 意でなく、商売が上手でなかった。

ネーターの増員・協働の推進体制・間 高校魅力化のため、コーディ 答 (教育長)人を呼び込み住環境等の整備が必要では。 境は非常に大事な要素だと認識し 性を深めるには、人・組織・住環 (教育長) 人を呼び込み多様 コーディ

アフターコロナの観光戦略

ゲットを絞った戦略で挑んでは。 環境整備・訪日誘客拠点空港指定 進連携協議会と一体でやっていく。 問 を願い、鳥取米子とも指定された。 答 7月に斉藤国交大臣を訪ね、 との調整はどのような段階か。 をつくり、サイクルツーリズム推 向上の二つのプロジェクトチーム 会を設立し、ルート振興しては。 ハイエンド層は県はあまり得 インバウンド解禁に向け、 走行環境の整備と受入環境の 鳥取うみなみロード推進協 選択と集中で富裕層にター 围

アートの容

どう評価し活用するのか。 ディ・ウォーホル作品について、 県立美術館が購入したアン

問 針等説明が浸透していないことが 壁を乗り越えながら取り組みたい。 の意味が伝わっていない。収集方 な期待を持つが、多くの県民にそ 想像力豊かに子ども達が育む大き 新たな視点で物事を柔軟に捉え、 反省点だと謙虚に受け止めている。 アーカイブ化に取り組むべきでは。 ての資料となるので、著作権の まんが原画の保存・デジタル (教育長)教育の場において (教育長) 本県の誇る財産と

》「食のみやこ鳥取県」の推進

業をやってみたい。 食のみやこのバージョンアップ事 みたり、 エンドな人を含めた情報発信を試 店のプロデュースをしたり、 県内でも蓄積されてきており、 意欲ある人材を活かしてはどうか。 なる情報発信を行っては。地元の 問 素晴らしいお店やノウハウは 副業・兼業人材を通じたさら 色々展開できるのでは。 ハイ お

ねんりんピックの展開

ピーと共にLINEスタンプ等で ラクターとして起用するが、 閰 青谷上寺朗をマスコットキャ トリ

> 身近に感じてもらってはどうか。 高齢者の方もLINEを使われて いるので、検討に値すると思う。 確かに面白い着想で、最近は

漢方生薬の国産化

問 要な拠点となる段階に来た。 とができ、安全保障の意味でも重 国内で初めて人工的に生産するこ ブクリョウは9・9%中国産。 8割以上を中国に依存してお 国産化・聖地化を進めるべき。

デジタルインフラの整備

41あり、公平ではない。岸田総理 れば、鳥取が0・7、東京は実に するなら、取り残されることがな を解消するよう国に働きかけを。 問 いよう申し上げている。 にはデジタル田園都市国家と標榜 5Gの鉄塔は国平均を1とす 5Gのデジタルデバイド格差

とっとりエコライフ構想

ば充電可能。マンション等には政 登場し始めている。 200ボルトのコンセントを作れ 要だ。家庭では5万円程度かけ るため、公共・家庭用・集合住宅 の急速充電器は足りているのか。 問 府の支援策もあり、鳥取市内でも 老朽化が進み再度テコ入れが必 県では70台設置しているが EV・PHVの普及促進を図



西村 選挙区 米子市 弥子 議員

原発避難路の決着への道筋にす出し次の任期へ引継ぐ土台を作り津・境港間の高速道路の方向性を明確にする。社会基盤では、日吉 の両輪でどう再生・発展させるか。大きい。感染防止と社会経済活動 この半年で再生への方向性を 長引くコロナ禍、燃油高、円 物価高で企業と生活に影響が

》任期半年の課題と使命は

間 ひとり親家庭、ヤングケアけ作りなど丁寧にやっていく。中、工夫して、県民運動的な仕掛車されパラダイムシフトが起こる る。 かな自然・田園風景等の魅力が見企業の新たな挑戦を応援する。豊 ラー等困窮者支援にどう取り組む 全国旅行支援割、飲食店支援、

孤 独 孤立支援へ知恵を絞り

> る。 の皆さんに引き継ぐべきと考え 条例も方向性を出して、 次の任期

全数フォローの体制を継続する。答 陽性者コンタクトセンターで医療の基盤整備をお願いする。 今後も県民が安心できる体制作り 流行懸念への対策はどうか。保健・間 第8波、インフルエンザ同時 インフルエンザ同時

持続可能な農業・食料供給

が一千億円プランでも頭打ちだ。答 有機・特別栽培は増やしたい理解と需要喚起を要望する。 具体的な方策を。消費者ニーズの 3%を2050年までに25%へ、 業生産一千億円達成プラン取組の 農業推進の「みどりの食料システ間 農薬・化学肥料の低減と有機 費者の理解促進を柱に実践例を作 課題はどうか。県の有機栽培率0・ ル消費(※)を触発する広報をした環境に優しい農業を広めエシカ とマッチングの輪を広げたい。ま 始めに関西のバイヤーに訴え農家 るべき。 販路拡大、生産者の環境作り、消 ム戦略」実現可能性はどうか。農 鳥取のオーガニックを手

を充実させ、政府にも求めていく。 の

圕 たなGI 真の「食のみやこ鳥取県 県産品のブランド化に向け新 (※) 取得の促進、品質・

たい。

Aと堆肥の使用や取組も

拡げる。

請した。メディアキャッチ、答日本酒は6月に酒造組合する。 政府に進化したGIの使い方を求保護制度として有効となり得る。 ンド戦略とG―取得を組合せ、 品種であり、 の進化を国に提案しては。日本酒 内市場で知名度向上できる制度へ める。強力米は関係者と協議する。 に認証し国内外の市場性を高める 物を結びつけオンリーワンを公的 りにする。Gーは土地名称と生産 の品質保証制度創設は難しい。国 者等から不満の声もあるが県独自 付加価値向上策は。Gーには生産 「強力米」は守るべき県の固有 日本酒は6月に酒造組合が申 米のG-登録を要望 ブラ 売

いのちを守る教育、 、性教育

改めて認識した。重要性を持ち、確かな学びの仕組み作りが必要と成長する連続性や発達段階に応じ 答 (教育長)大事な視点だ。知妊娠もトータルで教えるべきだ。がどうか。初潮から閉経、性交・ 標準の「包括的性教育」が必要だ 世的情報が氾濫する中、世界 識と体験的学びで深めたい。人が 今後も浸透を図る。 知

> 問 答 (警察本部長)本県も被害がの連携が不可欠だ。現状と課題は。 相談体制構築と活動の充実を図 員やスクールサポーターが被害防 を未然に防ぐには、 止教室等を学校と連携し実施中。 あり対策は重要だ。少年警察補導 性被害が若年化する中、 学校と警察と

更年期障害とキャリア

題。 8 相談が重要で連携体制が弾が必要。 県はどう支援できるか。 生活に支障有り。社会の理解啓発 百億円、50代女性の約4割が日常 問 係機関と相談し、体制整備を図る。 相談が重要で連携体制が課 更年期離職で経済損失6千3 保健所等窓□の機能強化を関

人材のジェンダー

世るようケア労働への性別役割分間 男性が看護師や介護士を目指 必要不可欠だ。地域と共に努める。

答 (教育長)大人の意識改革が 業の固定観念を解消する教育を。 の環境整備をどう支援するか。 間 女性医師の職場復帰、定着へ 女性だ。家事援助支援を検討する。 鳥大医学部合格者も今4割が

ー」 リターンと 若者の仕

答 アプリやインターンシップの業・営農等を強くPRをしては。間 30代以下の若者にUターン記 展開等、新年度の事業で勝負する。 アプリやインターンシップの 30代以下の若者にUターン起

般質問



9月定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。 本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。 議事録の全文は、県議会ホームページ 鳥取県議会議事録

※掲載に時間がかかる場合があります。

からご覧いただけます。

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部局 長の答弁も含む)。教育長、警察本部長は知 事の部局ではないため、別に表記した。







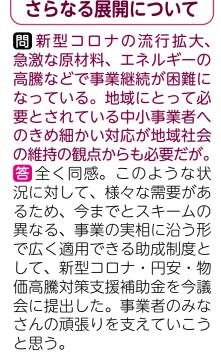
中小事業者支援施策の 電力高騰から家計守る

間電力高騰から家計を守る ためには太陽光、節電や安い 電気を買う等ある。住宅への 太陽光の設置を拡充しては。 答PPA(※)の鳥取型導入を 事業者と研究しており、住宅 による自家発電を応援する。

成人年齢の引き下げ

間民法改正により、今年4 月から成人年齢が18歳に引 き下げられた。高校3年生が、 親の同意なくクレジットカー ドやローン契約をすることが できる。子どもたちの未来の ため、悪い借金は絶対ダメと いうことを教えてほしい。

答(教育長)賢い消費者に なる、金融教育を進めていく。







福田 俊史



選挙区 八頭郡 会 派 自由民主党

県産梨のブランド化と 後継者育成について

問現在、都市圏の高級果物 店では本県産の梨が過去最高 の値段で店頭に並び、一層の ブランド化が進んでいる。そ の一方で後継者育成等につな がっていない課題もある。こ の現状と対応について知事の 所見を伺う。

答近年、梨の値段が上がり、 新規参入しやすい条件が整い つつある。地元関係者ともよ く相談しながら、オーダーメ イド型での支援を考えたい。 当初予算に向けて、さまざま なアイデアを起用しながら、 就農応援スキームをさらに展 開してまいりたい。



西川 憲雄



選挙区 八頭郡 会 派 自由民主党

原子力発電の活用、起 業者間のネットワーク

間①電力の安定供給と価格 の低減のために原子力発電 を活用すべきであり、県民に 安心を持っていただくべきで は②今以上に異業種交流や新 しく起業した人たちのネット ワーク作り、情報提供に取り 組むべきでは。

答①国において責任をもっ て対応すべきであり、必要に 応じて物申していく②昨年度 からプロジェクトをスタート しており、実績も生まれてき た。新年度に向け、起業者同 士で交流できる仕組みを考え たい。



曲田



選挙区 倉吉市 会 派 無所属

鳥取県の管理河川の整 備計画と現状について

問倉吉の国府川上流では、 令和元年の東日本台風を教訓 に対策を検討し水防対策検討 会を設置して水防対策を進め ている。台風シーズン前でも 一部河川内の樹木伐採・河床 掘削に手が付けられておら ず、害獣被害の報告もあり、 県に対応を求める。

答 この河川の点検について は定期的に行い科学的に判断 して対策をとってきている。 服部地区を点検した結果、や はり樹木伐採等が必要と判 断。それについては令和5年 度事業で計画させていただい ている。





選挙区 米子市 会 派 公明党

再犯防止の推進につい て

問①鳥取県再犯防止推進計 画の具体的な取組として高齢 者や障がい者以外の一般的な 刑務所出所者が地域生活への 円滑な移行や生活相談ができ るよう地域ネットで支える新 たな相談機関の設置が必要と 考えるが知事に伺う②更生保 護給産会では孤立しがちな出 所者へのフードバンク事業を 行っている。知事の所見を伺 う。

答①どのような受け皿で やっていけるのか関係機関と も協議していきたい②フード バンク事業など状況を聞き支 援について考える。



市谷 知子



内田 隆嗣

選挙区 米子市 会 派 自由民主党

肥料高騰対策と白ネギ 産地西日本一を目指す

問肥料価格高騰について、 どのように対処し、農業の持 続可能性を担保するつもり か、知事の御所見を伺う。

答鳥取県でも今議会にネギ の生産農家も含めた肥料高支 援、補正予算を入れている。

意欲、規模拡大など生産向上 意欲が湧くような、そういう 制度改善を新年度に向けて考 えてみたい。



尾崎



選挙区鳥取市 会 派 会派民主

医療的ケア児・者に 係る課題について

問医療的ケア児・者の移動 は課題。モデル的にカーシェ アリングをやってみては。

答話を聞き応援していく。

間災害時避難は大きな課題。 当事者・保護者、支援者が一 緒に災害対応ノートを記入す る防災カフェをしてみては。 また避難訓練を広めてほしい。 答協力頂き実現したい。 医 療的ケア児避難訓練を日吉津 でやった。横展開する。

問避難時に必要な抱っこひ も、てこの原理を利用した車 いすに付ける補助具を市町村 に紹介して欲しい。

答紹介し使用促進を図る。



選挙区 鳥取市 会 派 無所属

国葬、旧統一協会(※)、 産廃、県産業振興機構

問 ①安倍元総理の国葬。法的 根拠なく県費での知事参加は 不適正。返還を②統一協会常 設相談窓口を。統一協会関与 の自民党県議から県行政が歪 められてないか③淀江産廃計 画地地下水位や福井水源地地 層再調査求める声の反映を④ 鳥取県産業振興機構のパワハ ラ加害役職員の謝罪と解任。

答①公の行事、適正な執行。 大きな仕事をした人②相談 ネットワークの中で適切に対 応。行政の歪みは承知せず。 対処を申合せた③これ以上調 査の必要ない④調査すべきは 調査し、今後とも指導したい。



浜田 妙子



選挙区 米子市 会派 会派民主

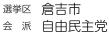
淀江産廃処分場と百塚 88号墳の共存を

間 産廃最終処分場と百塚88 号墳は淀江町小波に共にある。 この度地下水調査が終わり産 廃工事が進めば古墳はなくな る。今、人々の歩みを実感的 に学べる場が必要な時代。特 に子どもたちに1500年前の遺 跡と最先端の産廃施設両方を 見て歴史と未来が学べる場と して、この地を活用できないか。 答共存というのは可能だと 思う。一つの大きなテーマ性 のある地域として関心を寄せ 支えて、将来に向かって淀江 の地から地球全体を良くして 行くことができるよう、検討 を進めたい。



川部洋





電力の安定供給に関する県の役割について

間県が脱炭素に向けて推進している地域新電力による再エネ発電の普及が電力供給の不安定化を招く懸念がある。電力の安定供給という視点で県の脱炭素の戦略を組み直す必要がありはしないか?

答再エネ発電を中国電力や 新電力とパートナーシップ を組みながら危機を乗り越え る体制に持っていくかだと思 う。電気の問題がまちづくり の1つになり始めていて、県 内でもそうした動きが生まれ ている。それを全県的に共有 し、各方面で協力し合うこと を方向性として考えたい。



銀杏泰利



選挙区 鳥取市会派 公明党

①子供のワクチン接種

②デフリンピック開催

間①データを使って広報を ②⑦開催が手話言語法制定に 向け絶好の機会に①選手派遣 の支援とキャンプ誘致を。

答①11歳以下の陽性者の8割がワクチン未接種と広報した②⑦法制化の動きは国の中枢に届き始め、情報アクセスの法制定の附帯決議に入った。もう一歩のところまで入った。制定に向けて働きかける。制定に向けて働きかける。支援事業をデフリンピックに広げる。平等に扱うべきで、事業を今後改める。開催支援、キャンプ受け入れを目指すことを誓う。



浜田 一哉



選挙区 境港市 会派 自由民主党

保育支援と県職員の 採用試験について

間①これからの時期、待機 児童が心配。人材確保や子育 て支援等、市町村とさらに連 携すべきでは?②コロナによ り登園回避を要請した際、き め細やかな対応が必要では? ③高等特別支援学校からの応 募も考慮し、身体、精神、知 的障がい者と並べて、知的障 がいを持つ精神障がい者に対 しての試験枠を追加しては? |答①市町村と各施設と意見 交換する②園の判断で行動で きるよう市町村とも話し合う ③人事委員会と、どのような 見直し等が出来るか再検討す る。



野坂道明



選挙区 米子市 会派 自由民主党

①観光誘客の課題

②児童相談所の課題

間①大阪・関西万博を契機に今後のインバウンドの復活には中国5県で連携した広域周遊の取組の加速が必要では②児童相談所が子どもと家庭を取り巻く包括的な支援センターとなるよう位置づけるなど抜本的な体制の見直しが必要では。

(音) インバウンド再開に向けて中国5県、鳥取県としても取組をスタートし、受け入れの準備を本格化させていきたい②難しい案件を適正かつ早期に対処できる体制など根本の改革の進め方を新年度に向けて議論・検討していく。



濵辺 義孝



選挙区 鳥取市会派 公明党

障がいのある人の情報 アクセス向上推進を!

間障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が、本年5月議員立法で成立、施行された。国、地方自治体の責務が明確になり、同法に基づく取組を進めなければならないが、知事、教育長に問う。

答当初予算でモデル事業を始めるなど、県は先取りしいる。今後とも責務を果たして行きたい。(教育長)法律の施行に伴い文科省より通知があった。従来の取組を再点検し、子どもたちにとって大切な情報を有意に伝えるより取り組んで行きたい。



福浜隆宏



選挙区 鳥取市会派 無所属

①水資源を守るために ②県外生の受け入れ

間①国の森林環境税の配分は森林面積5:林業者数2: 人口3だが、5:2:2に見直し、残る1を水源を含まるに充当ではできるようでは、 国要望を②県外生受けるでは学校と市町村を語では学校と市町村で可存時にでいる。 年間、足は地方創生、原外生が高代係、国から寮整備の財源確保を。

答①働きかけをさらに強める②組織化も踏まえフォーラムを検討したい。寮整備は提案次第で国応援が得られるかも。交流人□増のチャンス。



興治 英夫



選挙区 倉吉市 会派民主

①下水道汚泥等の肥料 化②デジタル人材育成

間①肥料の高騰・不足に対 応すべく、下水道汚泥やバイ オマス発電所の燃焼灰の肥料 化について、研究・検討して はどうか②県内企業のデジタ ル化、デジタル人材の育成が 必要。どのように進めるか。 (答) ①最新の知見、関係者か らの聞き取り、工夫などによ り、安価で安心なものができ るなら、県として応援し実用 化できると思う②エンジニア の育成や、求職者・在職者向 けのリモート研修を始めた。 政府の政策をフォローし、県 独自対策も含めて、新年度予 算等で重点化を図る。



山川 智帆



選挙区 米子市会派 無所属

家計負担どう減らす? 蓄電等の再エネ施策

間物価高の一番は、光熱費 いわゆる電気代だ。給付金の 支給をするよりも家計や企業 にとって再エネ関連の促す補 助金や減税で需要を喚起して は。環境モデル都市として、 太陽光と蓄電セットの共同購 入や既存制度の拡充をする事 が家計に安く、地域内でエネ ルギー循環ができるのでは。 答 本県としても目指すエネ ルギー政策、エコライフスタ イルの実現と軌を一にしてい る。今日の意見を参考に専門 家や市町村と調整し、できる 限り実効性ある対策になるよ う行動をして参りたい。

用語解説

3ページ

● エシカル消費

環境、人や社会、地域にや さしい商品やサービスを選ぶ "思いやり"のある消費行動

GI

品質等の基準を満たす産地・産品の名称(地理的表示)を知的財産として登録し保護する制度

4ページ

PPA

企業や個人が保有する施設 の屋根や遊休地に無償で太陽 光発電設備を設置し、電気を 供給する仕組み

5ページ

● 統一協会

一般には「統一教会」と表 記



斉木 正一



選挙区 米子市 会派 自由民主党

将来の鳥取県を担う 子や孫たちのために

問①淀江産廃処理施設の早

期設置を望む声を踏まえて今 後の方針は②飼料用米への転 換促進で農家経営安定化を③ 四期にわたり知事自身が目指 す地方創生は実現できたか。 |答①地下水調査の精細な科 学的知見を受けて安全・安心 を第一にやっていく②当面飼 料用米の重要性が高まる中で 順調な生産継続を支える予算 を検討したい③自立と連携を 重点に小規模県の機動力を生 かし取り組んできた。全国を リードする端緒として持続可 能な地域づくりの新時代の扉 を開けるまではできたのでは。



森雅幹



選挙区 米子市 会派民主

下水汚泥、バイオマス焼却灰での肥料づくり

問 肥料原料が海外から入手困難の中、県内で自給しなければいけない。そのために下水道汚泥、バイオマス発電の焼却灰を使って肥料づくりに取り組んでいただきたい。

答 J A、肥料製造者、原料提供事業者等一緒になって、プロジェクト的に肥料づくりを進めていきたい。実証実験などを含め、重点的な課題として向かってまいりたい。

間有機農業に関する農業試験場の予算、人員増が必要だ。 管有機農業に取り組む農業者を支援する人材や研究の体制を作らねばならないと思う。

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、 閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を行っています。

福祉生活病院 常任委員会



















◎9月定例会審査結果(議案・陳情)

新型コロナウイルス対策の強化や物価高騰に 伴う生活困窮者への支援等を行う一般会計補正 予算など5議案について慎重に審査を行った結 果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきも のと決定した。また、霊感商法など悪徳商法の 被害の実態解明と対策強化について国に意見書 の提出を求める陳情については、既に県及び国 で相談対応等を行っていることから「趣旨採択」 と決定した。そのほか、陳情1件について、「趣 旨採択」と決定した。

◎オンラインで出前県議会を開催(7/29)

「医療的ケア児への支援について」をテーマ に医療関係者や県福祉保健部に参加いただき、 受入施設不足や人材確保・人材育成などの現状 と課題、今後の取組等について活発な意見交換 を行った。

◎県内調査(7/29)

県消費生活センターにおいて、成年年齢引き 下げに伴う若者の消費者トラブル防止に向けた 取組や市町村と連携した相談支援の状況等につ いて現地調査を行った。



出前県議会での関係者との意見交換

地域づくり県土警察 常任委員会



















◎9月定例会審査結果(議案・陳情)

国の全国旅行支援の開始にあわせて実施する 本県独自の観光誘客キャンペーン強化事業をは じめ、今年7月に締結した財源協力協定に基づ き新たに中国電力から受け入れる拠出金を財源 とした島根原子力発電所の原子力防災対策基金 の積み立て、コロナ禍と燃料・物価高騰の影響 により厳しい経営環境にある鉄道事業者の緊急 支援などの一般会計補正予算を含む議案7件に ついて、慎重に審査を行い、いずれも原案のと おり可決すべきものと決定した。

そのほか、新たに提出された陳情1件につい て、「不採択」と決定した。

◎県外調査 (7/25 ~ 7/27)

島根原子力発電所2号機で再稼働に向けた工 事計画認可等の審査が行われている状況を踏ま え、原子力規制委員会による審査が先行して行 われている宮城県の東北電力女川原子力発電所 を訪問し、安全対策の取組について意見交換す るなど、現地視察を含めた調査活動を行った。



JR東日本(気仙沼駅)での現地調査

常任委員会活動

総務教育 常任委員会

















◎9月定例会審査結果(議案・陳情)

職員の育児休業等に関する条例の一部改正、 職員の定年引き上げ等に伴う関係条例の整備に 関する条例のほか一般会計補正予算を含む6議 案について慎重に審査を行い、いずれの議案も 原案のとおり可決すべきものと決定した。その ほか、新たに提出された陳情2件について、「不 採択しと決定した。

○倉吉東高等学校で出前県議会開催(7/13)

コロナ禍においてGIGAスクール構想がいか に進んだのか、ICT(情報通信機器)の活用 による学びの変化や深化に係る出前県議会を実 施し、生徒や教職員と活発に意見交換を行った。

○県内外調査(7/13、8/25~26)

今後の部活動改革と教員の働き方改革に向け

た「部活の地域移行」について鹿の助スポーツ クラブ及び鳥取市立鹿野学園を、「高校魅力化 に向けた取組」について、つわの学びみらい、 島根県立津和野高等学校、鳥取県立日野高等学 校、地域・教育魅力化プラットフォーム等を訪 問し、学校と地域の連携強化のほか、連携を図 る機関の重要性について認識を深めた。



津和野高校にてトークフォークダンスを体験

農林水産商工 常任委員会



















◎9月定例会審査結果(議案)

鳥取県BA.5対策強化宣言を踏まえてテレ ワーク等の早期導入支援を盛り込んだ一般会計 補正予算を含む議案5件を審査し、いずれも原 案のとおり可決すべきものと決定した。

◎出前県議会(7/28)

「栽培漁業、養殖漁業の現状と課題、今後の 発展について」をテーマに、漁協、県栽培漁業 協会、関連企業及び行政が一堂に会し、活発な 意見交換を行った。

◎県内調査 (7/28~7/29)

境港直売センター及び境港高度衛生管理型市 場の整備状況、直交集成材のプレカット工場及 び活用事例、林業従事者の育成状況等について、 施設や実習現場において現地調査を行った。

○県外調査(8/29~8/30)

農業分野におけるコロナ禍・ウクライナ情勢・ 円安による燃油・飼料・肥料高騰対策、担い手 不足解消をテーマに、農業生産規模が大きい北 海道における支援状況、スマート農業の先進事 例、後継者対策等の調査を行った。



直交集成材のプレカット工場の視察

	自由民主党								—— 会派	—— 民主				公	——)明第	—— 党		無所	—— 所属												
安田由毅	中島 規夫	福田 俊史	藤縄 喜和	斉木 正一	浜崎 晋一	西川憲雄	浜田一哉	内田 博長	広谷 直樹	内田 隆嗣	野坂 道明	島谷龍司	坂野経三郎	西村 弥子	森雅幹	尾崎	浜田 妙子	興治 英夫	伊藤保	福間裕隆	濵辺 義孝		銀杏 泰利	山川 智帆	福浜 隆宏	由田隆	市谷 知子	賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果
											譿	(案)	こ対	する	賛	雪															
0	0	0	欠	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	31	1	32	可決
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	32	1	33	可決
0	0	0	\circ	0	0	0	0	議	0	0	\circ	0	\circ	\bigcirc	0	\circ	0	0	\bigcirc	\circ	\circ	0	\circ	\circ	0	0	×	32	1	33	可決
0	0	0	欠	0	0	0	0	議	0	0	\circ	0	\circ	\bigcirc	0	\circ	0	0	\bigcirc	\circ	0	0	\circ	\circ	0	0	0	32	0	32	可決
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	\circ	0	0	0	0	\circ	0	0	0	0	0	0	0	×	32	1	33	可決
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	32	1	33	可決
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	1	-	0	0	-	20	8	28	可決
	委員長報告に対する賛否																														
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	\circ	0	0	0	0	\circ	0	0	0	0	0	0	0	×	32	1	33	趣旨採択
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	32	1	33	不採択
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	32	1	33	不採択
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	×	0	0	0	×	29	4	33	不採択
0	0	0	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	31	2	33	趣旨採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

調願・陳情の詳しい結果は こちらからご覧いただけます⇒ **こ**



議案等 番号	件名	議決 結果
18	令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第5号)	可決
19	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
20	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
21)	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
22	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
23	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
24)	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
25)	鳥取県土地利用審査会委員の任命について	同意
2	国際社会の平和と安全を確保し国民の平穏な生活を守るために必要な対策を求める意見書	可決
8	北朝鮮による全拉致被害者の即時一括帰国を求める意見書	可決
4	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書	可決

令和4年9月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案

				É	曲月	 完主3	—— 党	
			語堂正範	常田賢二				山口 雅志
議案等番号	件名							
1	令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)		0	0	0	0	0	0
2	令和4年度鳥取県一般会計補正予算(第4号)		0	0	0	0	0	0
6	鳥取県立青谷かみじち史跡公園の設置及び管理に関する条例		0	0	0	0	0	0
7	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		0	0	0	0	0	0
12	鳥取市と鳥取県の間における鳥取県立青谷かみじち史跡公園の設置に用いる 関する事務の委託に関する規約を定める協議について	土地の管理に	0	0	0	0		0
17)	職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例	0	0	0	0	0	0	
0	安倍晋三元内閣総理大臣を悼み人権尊重の社会づくり推進を目指す意を表する	5決議	0	0	0	0	0	0
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情 4 年-17 (生活環境)	いわゆる霊感商法など、悪徳商法の被害の実態解明と対策強化について	趣旨採択	0	0	0	0	0	0
陳情 4 年-18 (総務)	政教分離原則の徹底について	不採択	0	0	0	0		0
陳情 4 年-19 (総務)	県庁に送信される電子メールの適切な管理について	不採択	0	0	0	0		0
陳情4年-20 (地域づくり)	県民の声に係る回答の基準について	不採択	0	0	0	0	0	0
陳情 4 年-21 (福祉保健)	障がい者手帳のカード化について	趣旨採択	0	0	0	0	0	0

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

賛否欄···「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席、「−」議場に不在であり、表決しなかった議員。

%請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば $[\bigcirc]$ 、反対であれば $[\times]$ と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等 番号	件名	議決 結果
3	令和4年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算(第1号)	可決
4	令和4年度鳥取県営電気事業会計補正予算(第1号)	可決
5	令和4年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第2号)	可決
8	財産の取得(鳥取空港化学消防車)について	可決
9	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
10	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
11)	不当利得の返還に係る和解について	可決
13	事業契約(鳥取県立美術館整備運営事業)の締結及び公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立美術館)についての議決の一部変更について	可決
14)	令和3年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	継続審査
15	令和3年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和3年度鳥取県営企業決算の認定 について	継続審査
(16)	令和3年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査

議員向けハラスメント防止研修会を 実施しました

令和4年9月8日、県議会でハラスメント防止研修会を開催しました。

昨年6月の「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部を改正する法律」の公 布・施行に伴い、地方議会においてもハラスメントの防止を図るとともに、研修の実施、相談体 制の整備などの施策を講ずるものとされています。

この一環として、全国都道府県議会議長会主催で都道府県議会議員を対象としたハラスメント 防止研修会が開催され、鳥取県議会議員もオンラインで受講しました。

研修では、実際のハラスメント事例にもとづいた映像教材を視聴し、議会におけるハラスメン トの実態や防止についての理解を深めました。

令和2年度に内閣府が全国の地方議員を対象 に行った調査では、議員活動や選挙活動中に、 全体の42.3%、男性の32.5%、女性の57.6%がハ ラスメント行為を受けたと回答しています。

、ハラスメントとは?

相手が望まない、相手の意に反する言動によ る攻撃・迷惑行為をいいます。パワハラのほか、セ クハラ、マタハラ、票ハラなどさまざまなハラスメ ントがあります。



information



県議会からのお知らせ





12月定例会の日程案

期日	日 程
12月 1日(木)	本 会 議(開会·提案理由説明)
2日(金)	常任委員会
5日(月)	本 会 議(代表質問)
7日(水)	
8日(木)	
12日(月)	本 会 議(一般質問・質疑)
13日(火)	本 云 硪(一放貝向·貝萊)
15日(木)	
16日(金)	
20日(火)	常任委員会
21日(水)	特別委員会
22日(木)	本 会 議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます。

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録 画中継のインターネット放送は、パソコン・スマート フォンからもご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは こちらから→





とがき

県議会だよりに掲載の代表質問や一般質問は論戦の 骨子を議員が各自でまとめたものです。そこで広報委 員会では、議員にとって都合の良い部分のみを抜き出 していないか?チェックしています。この客観性の担 保こそが最大のミッション!やりがい十分です。

(広報委員F)